

佐藤ひでとし

令和4年8月

県政報告



8月4.5.8.9日の4日間、県政調査会が開催されました。これは各部局、企業庁、病院事業庁、教育委員会、公安委員会など県政を担う各組織が、現在推し進めている主要事業の進捗状況等について、県議会議員に對し報告・説明をし、それに対し議論する会であります。その内容の一部をご報告します。



詳しく佐藤ひでとしのHPの活動報告の「県政調査会」から資料を参照することが出来ます。

<https://sato-hidetoshi.com>

政策企画局

- 県政150周年記念の取組について
 - 事業PR活動を市町村・協力企業・各種団体と共に啓発を進行中。
 - 愛知県が誕生した11月27日(日)に式典、前日の26日(土)に航空自衛隊のブルーラインバスが記念展示飛行を実施する。
- 次期国際戦略プランの策定について
 - 本県が世界と繋がり成長する地域であり続けるために、次代を担う若者を中心に幅広く多層的な交流を展開すべく、今後5年のプランを策定する。
 - ジブリパークの整備について
- ジブリパークの整備について
 - 事業PR活動を市町村・協力企業・各種団体と共に啓発を進行中。
 - 愛知県が誕生した11月27日(日)に式典、前日の26日(土)に航空自衛隊のブルーラインバスが記念展示飛行を実施する。

総務局

- 県財政の状況について
 - 歳出規模は、2021年度に新型コロナウイルス感染症対策に係る累次の補正予算を編成し増加。2022年度は当初予算としては過去最大。
 - 本県の財政運営は、基金を活用した2カ年にわたる財政調整により対処せざるを得ない厳しい状況が継続。
- 行財政改革の取組状況について
 - 「あいち行革プラン2020」では、「スピードイー」「スマート」「サステナブル」を環境変化に対応する3つの「S」として改革の視点に設定し、改革を推進する基盤となる「人財力」を強化しながら「スピードイー」でしなやかなか県庁」を目指すとしている。

防災安全局

- 愛知県基幹的広域防災拠点等の整備について
 - 南海トラフ地震など広域かつ大規模な災害が発生した際に、全国から救出救助人員や緊急支援物資等を円滑に受け入れ、県内全域の災害応急活動を後方支援する「基幹的広域防災拠点」を名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に整備する
 - 交通安全対策について
 - 第11次愛知県交通安全計画の目標は、年間の24時間死者数を125人以下及び年間の交通事故重症者数を600人以下。
- ヤングケアラーへの支援について
 - 本来、大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている「ヤングケアラー」の実態を把握するため、2021年度に県内全域において「愛知県ヤングケアラー実態調査」を実施した。

保健医療局・感染対策局

- 次期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定について
 - 国の「ギャンブル等依存症対策推進計画」改定に伴い、本年度中に本県の次期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画を改定する。
- 新型コロナウイルス感染対策について
 - 感染再拡大に備え、最大確保密床数が2,540床、うち重傷者病床数が230床となった。
 - PCR検査及び抗原定性検査を無料で実施。

観光コンベンション局

- 観光消費の喚起について
 - 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている観光関連産業を支援するため、県内旅行の需要拡大を図る観光消費喚起事業を実施。
- 観光振興に係る主な取組について
 - 大河ドラマを活用した誘客促進。ジブリパークを活用した誘客促進。

スポーツ局

- 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会について
 - 新体育館は、PFI手法の「BTコンセッション方式」により、設計・建設から維持管理運営を一体として民間事業者が実施する。2025年夏の開業。
- 愛知県新体育館整備・運営等事業について
 - 新体育館は、PFI手法の「BTコンセッション方式」により、設計・建設から維持管理運営を一体として民間事業者が実施する。2025年夏の開業。

農林基盤局

- 県産木材の利用促進について
 - 新しいアイデアや革新技術を有するスタートアップと連携したイノベーション創出。
- 明治用水頭首工で発生した漏水事故について
 - 裏面につづく

表面よりつづく

1.多文化共生社会づくりに向けた取組について

・「あいち多文化共生推進プラン2022」に基づき展開をしている他、
ウクライナ避難民への生活支援も各種実施している。

2.「愛知県人権尊重の社会づくり条例」に基づく施策の推進について

・「あいち人権啓発プラザ」の拡充、「あいち人権センター」の設置
で、人権に関する施策を総合的にかつ計画的に推進。

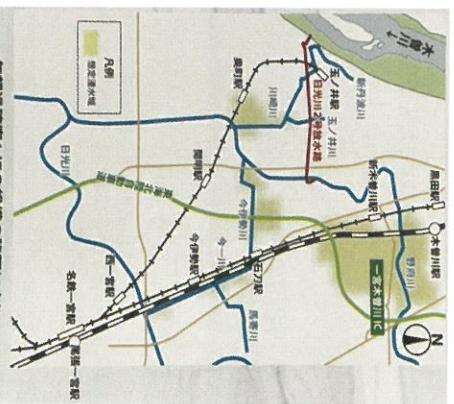
3.国際芸術祭「あいち2022」について

・国内外の82組のアーティスト及びグループの新作を含む作品を展示
し、最先端の現代美術を紹介。愛知芸術文化センター、一宮市、常滑
市、有松地区での作品展示やパフォーミングアーツが展開される。

特集！ 日光川2号放水路の計画について

『木曽の清流に抱かれる一宮市』と言われますが、市内には国が管理する一級河川の木曽川や県が管理する青木川や日光川などの一・二級河川のほか、緑葉川や川崎川など市が管理する中小河川など多くの川が流れています。

近年、ゲリラ豪雨・線状降水帯など過去に経験もしたことがない程の雨量が短時間に降り、側溝や中小河川が溢れ、一級河川まで氾濫する水害の報道を多く目にします。私たちが住む一宮市においてもその危険度はあり、国・県・市と連携を取り合って河川修繕、調整池、貯留施設、放水路、排水機場等々、水害の対策を行っているところであります。



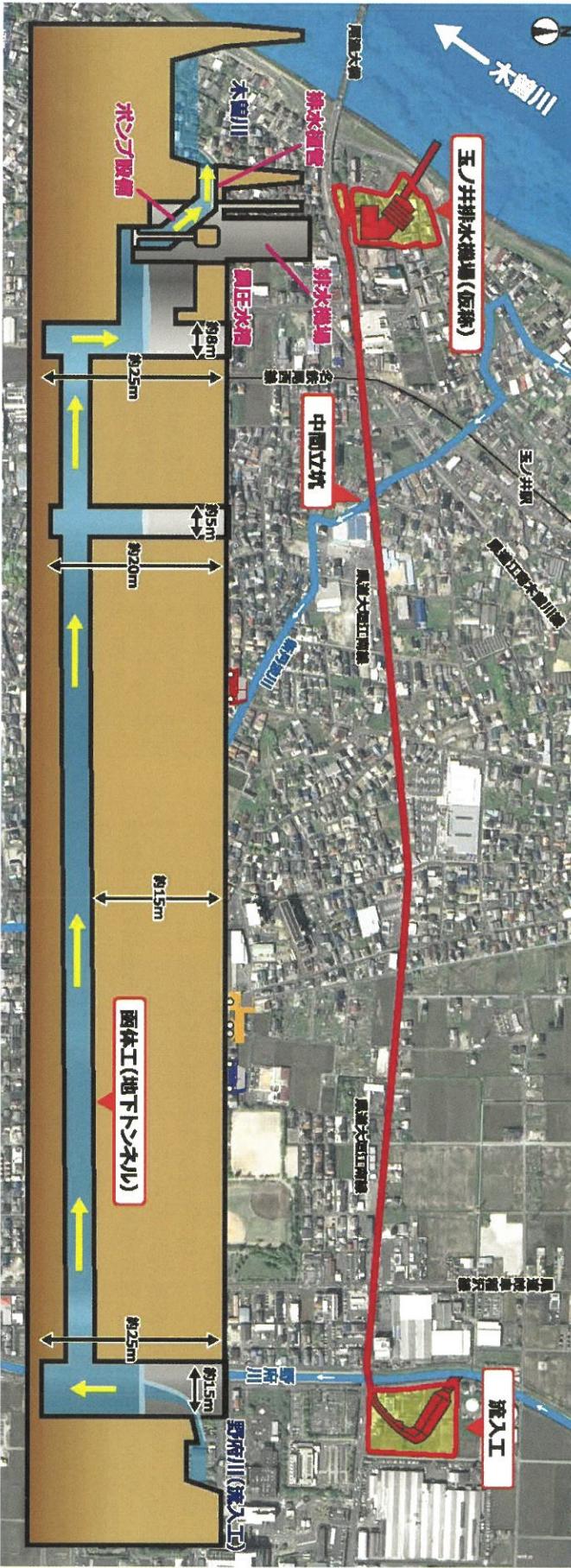
年超過確率1/5年の降雨による
想定される浸水域

日光川2号放水路の整備により、日光川の中流部の水位を低下することで日光川の排水調整や個別河川の洪水予報の発令頻度を低減できるほか、浸水常襲地区で放水路が横断する一宮市奥町周辺の浸水被害を大きく低減し、同じく浸水常襲地区である野府川上流の黒田地区、日光川合流点上流の尾張一宮駅を含む今伊勢地区的排水改善の受け皿となるなど効果が広範囲に及ぶ抜本的な治水対策施設となります。

令和2年度4月に大規模特定河川事業として、日光川2号放水路のうち流入工、発信・中間・到達の3つの立坑、放水路本体(地下トンネル)が採択されました。

現在進行中の到達立坑工事が2023年2月に完了する予定です。

日光川2号放水路計画概要図



日光川第2放水路
パンフレット



到達立坑工事現場(淀川大橋手前)



令和元年7月18日一宮市奥町の浸水状況(時間雨量40mm)

今回は、日光川2号放水路について報告したいと思います。
日光川流域の市街化はの進展は著しく、堤防際まで市街化が進むなど、川幅を広げる河道改修だけでは洪水を処理することが困難となっています。

日光川の隣接流域には、流域面積で日光川のおよそ15倍の約4,700㎢、幹線流路延長が200kmを超える大河川、木曽川が流れています。大河川と隣接する中小河川とでは、洪水到着時間にずれがあることに着目して、日光川支川の野府川の洪水を、地下トンネルを通して木曽川に放水する放水路を計画しています。

日光川整備計画では、4つの放水路を計画しており、これまでに1号放水路の農地分、日光川玉野(3号)放水路、日光川祖父江(4号)放水路を整備し、合計毎分100㎥の排水能力を備えた放水路を共用しています。

日光川2号放水路は、新たに日光川の支川野府川などから最大毎分60㎥の水を木曽川に排水する放水路となります。

企業庁

1.地震防災対策及び老朽化施設更新(県営水道・工業用水道)の進捗状況

2.明治用水頭首工で発生した漏水事故について

3.用地造成事業(内陸地区)の推進状況について

1.地球温暖化対策の推進について

2.循環型社会の形成に向けた取組の推進について

・サーニューラーエコノミーへの転換と3Rの高度化による循環ビジネスの進展を図る。またプラスチックごみや食品ロスの削減推進。

3.生物多様性の保全に係る取組の推進について

県民文化局

1.多文化共生社会づくりに向けた取組について

・「あいち多文化共生推進プラン2022」に基づき展開をしている他、
ウクライナ避難民への生活支援も各種実施している。

2.「愛知県人権尊重の社会づくり条例」に基づく施策の推進について

・「あいち人権啓発プラザ」の拡充、「あいち人権センター」の設置
で、人権に関する施策を総合的にかつ計画的に推進。

3.国際芸術祭「あいち2022」について

・国内外の82組のアーティスト及びグループの新作を含む作品を展示
し、最先端の現代美術を紹介。愛知芸術文化センター、一宮市、常滑
市、有松地区での作品展示やパフォーミングアーツが展開される。

佐藤ひでとしのホームページがリニューアルしました！

下記のアドレス、QRコードなどで
アクセスをお願いします。

<https://sato-hidetoshi.com>

